

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-280583

(43)Date of publication of application : 27.10.1995

(51)Int.Cl.

G01C 21/00  
 G08G 1/005  
 G08G 1/0969  
 // G01S 5/02  
 G01S 5/14

(21)Application number : 06-099360

(71)Applicant : AQUEOUS RES:KK

(22)Date of filing : 13.04.1994

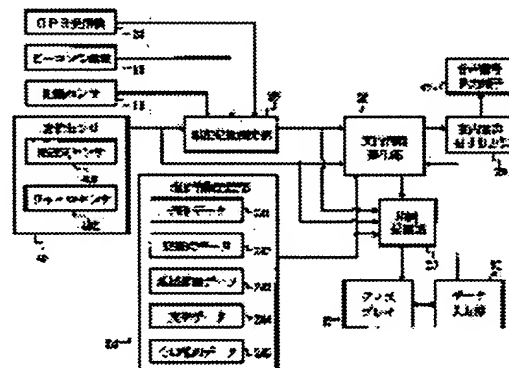
(72)Inventor : SUZUKI SEIICHI  
MORI TOSHIHIRO

## (54) PORTABLE NAVIGATION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a portable navigation system which allows easy azimuth identification.

CONSTITUTION: A map drawing part 28, according to azimuth of device detected by a azimuth sensor 40, draws map drawing data 243 and character data 244, etc., of a map information storing part 24 on a display 12 as map screen conforming to actual azimuth. A guide information generating part 20, when device's azimuth conforms to that of destination or recommended path, outputs guide sound from a speaker 13, and in addition, an arrow mark indicating the direction of destination, etc., is displayed on a display 12.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.04.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 31.10.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

---

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-280583

(43) 公開日 平成7年(1995)10月27日

(51) Int. Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 1 C 21/00		Z		
G 0 8 G 1/005				
1/0969				
// G 0 1 S 5/02		Z		
5/14				

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平6-99360

(22) 出願日 平成6年(1994)4月13日

(71) 出願人 591261509

株式会社エクス・リサーチ  
東京都千代田区外神田2丁目19番12号

(72) 発明者 鈴木 誠一

東京都千代田区外神田2丁目19番12号 株  
式会社エクス・リサーチ内

(72) 発明者 森 俊宏

東京都千代田区外神田2丁目19番12号 株  
式会社エクス・リサーチ内

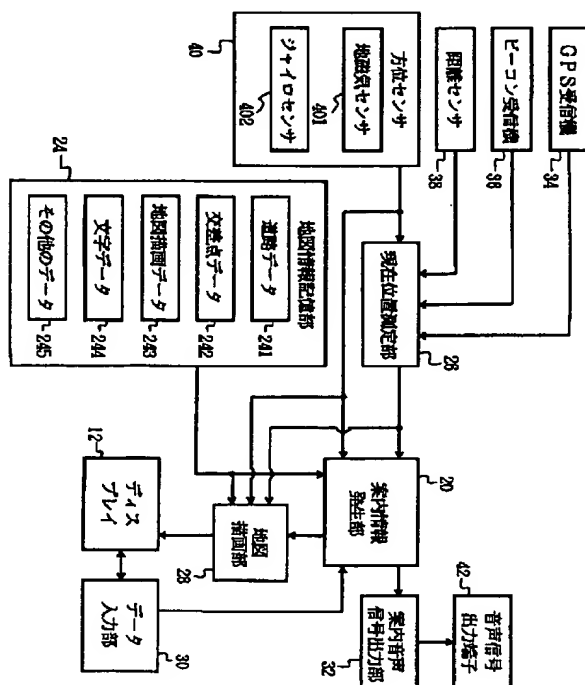
(74) 代理人 弁理士 川井 隆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 携帯用ナビゲーション装置

(57) 【要約】

【目的】 方向認識を容易にすることができる携帯用ナビゲーション装置を提供する。

【構成】 地図描画部28は、方位センサ40が検出した装置の方位に応じて、地図情報記憶部24の地図描画データ243や文字データ244等を、実際の方位と一致した地図画面として、ディスプレイ12上に描画する。案内情報発生部20は、装置の方位が、目的地や推奨経路の方位と一致したときに、案内音をスピーカ13から出力させると共に、目的地等の方向を示す矢印をディスプレイ12に表示させる。



**【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 目的地の位置情報と目的地までの経路情報の、少なくとも一方が案内の対象として記憶された案内対象情報記憶手段と、

装置本体の現在位置を検出する現在位置検出手段と、この現在位置検出手段で検出された現在位置に対する、前記案内対象情報記憶手段に記憶された前記案内対象の方位を判断する案内対象方位判断手段と、前記装置本体が向いている方位を検出する本体方位検出手段と、

この本体方位検出手段で検出された装置本体の方位と、前記案内対象方位判断手段で判断された前記案内対象の方位とから、前記案内対象の方位に対する前記装置本体の向きを判断する本体向き判断手段と、

この装置本体向き判断手段で判断された前記装置本体の向きに応じて案内音を出力する案内音出力手段とを具備することを特徴とする携帯用ナビゲーション装置。

【請求項 2】 地図情報を記憶した地図情報記憶手段と、前記装置本体に固定され、画像情報を出力する表示手段と、

前記地図情報記憶手段に記憶された地図情報を、前記本体方位検出手段で検出された前記装置本体の方位に基づいて、実際の方位と一致させて前記表示手段に描画する地図描画手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 記載の携帯用ナビゲーション装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、携帯用ナビゲーション装置に関する。

**【0002】**

【従来の技術】 ナビゲーション装置は、地理に不案内な者に対して、現在の位置や目的地の方向、あるいは目的地までの経路等を案内するものであり、近年、徒歩等で移動する者のために、携帯用のナビゲーション装置が開発されている。携帯用ナビゲーション装置は、ディスプレイに現在地周辺の地図や現在位置を示すマーク、目的地までの経路等を描画する。また、現在位置の案内や目的地に行くための進路方向の案内等を音声で出力したりする。ディスプレイに表示される地図は、例えば、ディスプレイの上方が北になるように描画され、この地図を見ることで携帯用ナビゲーション装置の携帯者（被案内者）は、自分が実際に向いている方向や進むべき方向等を認識することができる。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】 従来の携帯用ナビゲーション装置では、例えば、描画されたディスプレイ上の地図において、目印となる建物が右斜め前にある場合でも、その建物が実際に自分の見ている景色の中でどの方向に位置するのかは容易に認識できない場合がある。こ

のような場合、自分が向いている方向を変えて、自分の周りの実際の建物や道の状況を、地図上の建物等と照らし合わせたり、また、コンパスを所持して、実際の方位と描画された地図上での方位とを合わせなければならなかった。このように、被案内者が実際の道の状況において、目標物の方向や進むべき方向を認知するのは、困難であった。

【0004】 そこで、本発明の目的は、方向認識を容易にすることができる携帯用ナビゲーション装置を提供することにある。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】 請求項 1 記載の発明では、目的地の位置情報と目的地までの経路情報の少なくとも一方が案内の対象として記憶された案内対象情報記憶手段と、装置本体の現在位置を検出する現在位置検出手段と、この現在位置検出手段で検出された現在位置に対する前記案内対象情報記憶手段に記憶された前記案内対象の方位を判断する案内対象方位判断手段と、前記装置本体が向いている方位を検出する本体方位検出手段と、この本体方位検出手段で検出された装置本体の方位と前記案内対象方位判断手段で判断された前記案内対象の方位とから前記案内対象の方位に対する前記装置本体の向きを判断する本体向き判断手段と、この装置本体向き判断手段で判断された前記装置本体の向きに応じて案内音を出力する案内音出力手段とを携帯用ナビゲーション装置に具備させて前記目的を達成する。請求項 2 記載の発明では、請求項 1 記載の携帯用ナビゲーション装置に、地図情報を記憶した地図情報記憶手段と、前記装置本体に固定され画像情報を出力する表示手段と、前記地図情報記憶手段に記憶された地図情報を前記本体方位検出手段で検出された前記装置本体の方位に基づいて、実際の方位と一致させて前記表示手段に描画する地図描画手段とを具備させて前記目的を達成する。

**【0006】**

【作用】 請求項 1 記載の携帯用ナビゲーション装置では、案内対象方位判断手段が、現在位置検出手段で検出された現在位置に対する、案内対象情報記憶手段に記憶された案内対象の方位を判断する。本体向き判断手段は、本体方位検出手段で検出された装置本体の方位と、案内対象方位判断手段で判断された案内対象の方位とから、案内対象の方位に対する装置本体の向きを判断する。そして、案内音出力手段は、装置本体向き判断手段で判断された装置本体の向きに応じて、案内音を出力する。請求項 2 記載の携帯用ナビゲーション装置では、地図描画手段が、地図情報記憶手段に記憶された地図情報を、本体方位検出手段で検出された装置本体の方位に基づいて、実際の方位と一致させて表示手段に描画する。

**【0007】**

【実施例】 以下、本発明の携帯用ナビゲーション装置における一実施例を図 1 ないし図 12 を参照して詳細に説

明する。図 1 は、本実施例による携帯用ナビゲーション装置 10 の外観を表したものである。携帯用ナビゲーション装置 10 は、手のひらに載せられる程度の重量と大きさであり、現在地周辺の地図や矢印等の案内情報が表示されるディスプレイ 12 と、案内音声や「ピピピッ」といった案内音出力されるスピーカ 13、電源スイッチや各種操作を行うための入力キー 14 等を有している。案内音声等は、イヤホン 16 から出力できるようになっている。

【0008】図 2 は、携帯用ナビゲーション装置 10 の構成を表したものである。この携帯用ナビゲーション装置 10 は、装置の携帯者に対する各種案内情報を発生させる案内情報発生部 20 と、地図情報が記憶された地図情報記憶部 24 と、携帯用ナビゲーション装置 10 の現在位置を測定する現在位置測定部 26 とを備えている。また、携帯用ナビゲーション装置 10 は、地図等を描画する地図描画部 28 と、入力キー 14 等によって各種データが入力されるデータ入力部 30 と、案内音声等を出力する案内音声信号出力部 32 とを備えている。

【0009】地図情報記憶部 24 は、地図情報として、道路データ 241、交差点データ 242、地図描画データ 243、文字データ 244、及び特徴的な地点の写真情報や各地域のホテル、観光案内等の各種地域毎の情報、及び音声案内する際の音声データ等が格納されているその他のデータ 245 を有している。この地図情報記憶部 24 は、各地図情報を案内情報発生部 20 や地図描画部 28 に供給するようになっている。地図情報記憶部 24 の記憶媒体としては、例えば、CD-ROM（リード・オンリ・メモリ）や IC カード、あるいは、磁気ディスク、光磁気ディスク等を用いる。

【0010】ここで、道路データ 241 は、経路案内に必要なデータとしての、各道路の太さ、道路の長さ、その道路の始点や終点となる交差点番号、始点と終点間の各地点における座標位置（経度、緯度）等で構成されている。交差点データ 242 は、交差点の名称及びその座標位置、その交差点を構成している道路のデータ等である。地図描画データ 243 は、ディスプレイ 12 において、河川水系や山等の地形、建築物、線路、道路等を描画するためのデータであり、各々のデータが経度と緯度で特定される絶対座標を有している。この地図描画データ 243 は、地図のスケール毎に階層化され、最下位層のデータは、例えば、1 万分の 1 のスケールの地図を描画するためのデータで、細かな路地や商店名等を含んだ詳細データとなっている。

【0011】文字データ 244 は、図 1 に示すようなデパートや学校等の目印となる特徴物の略記号、あるいは特徴物の名称及び地名（以下、「地名等」という）等を地図上に表示するためのデータである。文字データ 244 は、各地名等に対応した文字列データと、地図上に表示する全ての文字のフォントデータで構成される辞書デ

ータとを有している。文字列データは、文字列の中心点、すなわち、文字列の上下幅と長さにより決定された長方形の対角線の交点、の絶対座標（緯度、経度）を示す座標データと、文字列を構成する各文字（略記号は、1 文字）のフォントデータを特定するためのコードデータとを有している。各文字列データは、座標データによって地図描画データ 243 とリンクしている。

【0012】現在位置測定部 26 は、GPS（グローバル・ポジショニング・システム）受信機 34、ビーコン受信機 36、距離センサ 38、方位センサ 40 にそれぞれ接続されている。GPS 受信機 34 は、GPS 衛星の電波を受信するものであり、現在位置測定部 26 は、この GPS 受信機 34 の受信データを基に、携帯用ナビゲーション装置 10 の絶対位置を算出するようになっている。一方、ビーコン受信機 36 は、路上に配置されたビーコンからの位置情報を受信するものである。方位センサ 40 は、地磁気を検出して携帯用ナビゲーション装置 10 の向き、すなわち方位を求める地磁気センサ 401 や、回転角速度を検出するガスレートジャイロや光ファイバジャイロ等のジャイロセンサ 402 を有している。

【0013】ここで、2 種類のセンサが使用されるのは、地磁気センサ 401 が、例えば、携帯用ナビゲーション装置 10 自体の帯磁や、橋等の鉄でできた構造物、あるいは高圧線等の影響で、地磁気以外の外部磁場を検出してしまい、方位検出を誤ることがあるからである。従って、方位センサ 40 では、通常、外部磁場の影響を受けないジャイロセンサ 402 を用いて方位検出を行い、その検出値の誤差を地磁気センサ 401 の検出値を基に補正することで正確な方位検出を行うようになっている。

【0014】方位センサ 40 で検出した方位データは、現在位置測定部 26 のみならず、案内情報発生部 20 や地図描画部 28 に供給されるようになっている。距離センサ 264 は、例えば、携帯用ナビゲーション装置 10 の加速度を検出すると共に、2 回積分して移動距離を得るものである。現在位置測定部 26 は、GPS 受信機 34 とビーコン受信機 36 とから、単独で位置測定をすることができるが、GPS 衛星やビーコンからの受信が不可能な場所では、距離センサ 264 や方位センサ 263 を用いた推測航法によって絶対位置を算出するようになっている。

【0015】地図描画部 28 は、ディスプレイ 12 上に地図や推奨経路、写真、進路方向や目的地の方向を示す矢印等を描画するための各種処理を行う描画用 CPU（中央処理装置）と、地図情報記憶部 24 から読み込んだ各種データがそれぞれ格納される描画データ用 RAM（ランダム・アクセス・メモリ）を備えている。この地図描画部 28 は、描画した地図上の方位が実際の方位と一致するように、現在位置を中心に地図を回転させてデ

ディスプレイ 12 上に描画するようになっている。すなわち、現在位置測定部 26 で測定された現在位置と方位センサ 40 で検出された方位とに応じて、地図描画データ 243 と文字データ 244 とにおける座標データを変換し、座標変換後の地図及び文字をディスプレイ 12 上に描画するようになっている。地図描画部 28 の描画データ用 RAM は、座標変換後の地図描画データ 243 や文字データ 244 等の描画データを格納する格納エリアや、地図上に表示される他の描画データ、例えば、現在位置を示す矢印やコマンド等の描画データを格納する格納エリアを有している。

【0016】図 3 は、描画データ用 RAM における各描画データの格納エリアを模式的に表したものである。各描画データの格納エリアは、それぞれの描画データ 243、244 等が持つ座標データによって互いにリンクしており、図 3 に示すようなレイヤ構造を有している。すなわち、描画データ用 RAM は、座標変換後の地図描画データ 243 や文字データ 244 がそれぞれ格納される格納エリアとして、地図レイヤ 50 や文字レイヤ 52 とを有している。また、携帯用ナビゲーション装置 10 の位置及び方位を示す矢印等の描画データが格納される現在位置レイヤ 54 や、各種コマンドの描画データが格納されるコマンドレイヤ 56 を有している。以上の各レイヤ 50、52、54、56 のデータが、ディスプレイ 12 のビットマップメモリ上に重なって展開されることで、例えば、図 1 に示した画面が表示されるようになっている。ディスプレイ 12 としては、液晶ディスプレイ、あるいはプラズマディスプレイ等を使用する。

【0017】データ入力部 30 は、目的地（到着地点）や携帯用ナビゲーション装置 10 への各種操作指令を携帯者が入力するためのものである。本実施例においてデータ入力部 30 は、図 1 に示した複数の入力キー 14 や、ディスプレイ 12 の表示画面に触れることで入力動作が行われるタッチパネルから主に構成されるが、キーボード、マウス、ライトペン、ジョイスティック、音声認識装置等を使用してもよい。案内音声信号出力部 32 は、案内情報発生部 20 の指令に従って、所定の音声や案内音を合成し、その信号を音声信号出力端子 42 に供給するものである。例えば、「次の交差点を右に曲がって下さい」等の案内音声や「ピピピピッ」といった案内音を、音声信号出力端子 42 に接続されたスピーカ 13 やイヤホン 16 から出力するようになっている。

【0018】案内情報発生部 20 は、携帯者に対して各種案内情報を出力するための処理を行う CPU や、所定のプログラムが格納された ROM（リード・オンリ・メモリ）、及び入力データや CPU の処理結果等を格納するナビゲーション用 RAM 等を備えている。案内情報発生部 20 は、現在位置測定部 26 で測定された現在位置とデータ入力部 30 に入力された目的地、及び地図情報記憶部 24 の道路データ 241 や交差点データ 242 等

から、ROM に格納されたナビゲーションプログラムに基づいて、目的地までの推奨経路を探索するようになっている。また、探索した経路データと、現在位置測定部 26 で測定した現在位置とから、携帯者が推奨経路に沿って進むべき方向を判断するようになっている。

【0019】案内情報発生部 20 は、入力された目的地の座標データから目的地の方向も判断するようになっている。そして、判断結果である各種案内情報を、地図描画部 28 や案内音声信号出力部 32 に供給することで、ディスプレイ 12 に矢印を表示させたり、スピーカ 13 から「次の交差点を右に曲がって下さい」等の案内音声を出力させる。案内情報発生部 20 は、方位センサ 40 の検出値を基に、推奨経路の方向、すなわち経路となる道路の進行方向や目的地の方向に対する携帯用ナビゲーション装置 10 の向きを判断して、両者の方向の差に応じて、案内音の出力や矢印等を表示を案内音声信号出力部 32 や地図描画部 28 に指令するようになっている。なお、探索した経路のデータは、目的地までの道路データや交差点データ等で構成されるが、これらは、目的地のデータと共にナビゲーション用 RAM に格納され、地図描画部 28 によって読みだされることによって地図と共にディスプレイ 12 の地図上に描画されるようになっている。

【0020】次に、このように構成された実施例の動作について説明する。

#### （1）動作の概要

携帯用ナビゲーション装置 10 では、ディスプレイ 12 上の地図が、表示地図上の現在位置を中心として、携帯用ナビゲーション装置 10 の向きの変化に応じて回転するように描画され、地図上の方位と実際の方位とが一致するようになっている。携帯用ナビゲーション装置 10 による案内は、携帯者の必要に応じて、地図や現在位置をディスプレイ 12 に表示するのみの案内と、探索した推奨経路に沿って携帯者を誘導する案内と、目的地の方位のみを知らせる案内とに大別される。以下、各案内での携帯用ナビゲーション装置 10 の動作をそれぞれ説明する。

【0021】図 4 は、実際の道路上での携帯者 m の向きの変化を表したものであり、図 5 は、地図や現在位置の表示のみで案内する場合において、図 4 で示す携帯者 m の向き変化に対応してディスプレイ 12 に描画される画面の変化を表したものである。図 4 に示すように携帯者 m が A の方向から B の方向に向きを変え、すなわち、携帯用ナビゲーション装置 10 の向きが A から B に変わると、図 5 の（A）で示す画面が、（B）で示すような画面に書き換えられる。すなわち、携帯用ナビゲーション装置 10 が向きを変えた角度分、地図が現在位置を中心に回転して描画される。（A）（B）いずれの画面でも、ディスプレイ 12 上での北の方位を示す矢印 C は、実際の北の方位と一致している。また、携帯用ナビ

ゲーシオン装置 10 の位置と向きを示す矢印はディスプレイ 12 に対して常に同じ方向（画面上方）を向いている。なお、ディスプレイ 12 上には、通常、図示するような略記号化された文字のみが表示されるが、所定の入力キー 14 を押下してモードを変更することで、略記号の代わりに正式な名称や地名（番地）等が表示される。

【0022】図 6 は、推奨経路に沿って携帯者を誘導する場合におけるディスプレイ 12 の画面の変化を表したものである。携帯者が、推奨経路 K に沿って移動する場合、図 6 (A) で示す携帯者の向きを矢印 D で示すように変えて、図 6 (B) で示すように推奨経路 K の方向と一致させたとき、向きを変えた分地図が回転表示されると共に、画面上に大きな矢印が表示され、かつ、スピーカ 13、あるいはイヤホン 16 から、例えば、「ピッピッ」という案内音出力される。携帯者は、この矢印を見たりや案内音を聞くことにより、実際に見ている景色において、推奨経路の方向がどの方向かを容易に認識することができる。

【0023】図 7 は、目的地の方位のみを知らせる案内を行う場合におけるディスプレイ 12 の画面の変化を表したものである。特定の経路に沿って移動するのではなく、目的地 n の方向を頼りに移動する場合、携帯者が矢印 E で示すように向きを変えて、目的地 n の向きと携帯用ナビゲーシオン装置 10 の向きとが一致した場合にも、同様、地図の回転表示と共に、大きな矢印の表示と案内音の出力が行われる。図 8 は、ディスプレイ 12 と携帯者 m との位置関係を表したものである。図 5 ~ 図 7 は、ディスプレイ 12 と携帯者 m とが、図 8 に示す位置関係にあるときのディスプレイ 12 画面の変化を表したもので、地図上の文字（略記号）は、通常、図 8 の

(A) ~ (C) で示すように、ディスプレイ 12 に対して一定の方向に描画される。すなわち、携帯者 m から見て常に同じ角度で描画される。

【0024】図 9 は、携帯者 m が、携帯用ナビゲーシオン装置 10 を手のひらで回転させた場合のディスプレイ 12 画面の変化である。携帯用ナビゲーシオン装置 10 は、携帯者が、所定の入力キー 14 を押下する等して、文字の描画モードを変更すると、地図上の文字の向きを地図の回転表示と一緒に回転させて描画する。すなわち、図 9 の (A) ~ (C) で示すように、携帯者 m が、手のひらの上で携帯用ナビゲーシオン装置 10 を回転させた場合、地図上の文字は、その向きが描画地図に対して常に一定になるよう描画される。この場合携帯者は、自分に対し常に同じ方向を向いた文字を見ることができる。例えば、道を歩いているときに、自分自身の向きを変えずに携帯用ナビゲーシオン装置 10 の向きのみを変えて、「ピッピッピッ」といった案内音を頼りに目的地の方向等を確認する場合、携帯者 m にとって文字が見やすくなる。

【0025】(2) 動作の詳細

図 10 ~ 図 12 は、本実施例の携帯用ナビゲーシオン装置 10 の動作の流れを表したものである。案内情報発生部 20 は、まず、目的地を有するか否かをたずねるメッセージをディスプレイ 12 上に表示させ、携帯者によって、目的地がある旨を入力された場合（ステップ 1 ; Y）、目的地設定の処理を行う（ステップ 2）。すなわち、ディスプレイ 12 上に目的地の地名リスト、あるいは 50 音配列の平仮名等を表示する。そして、携帯者が目的地リストから所定の地名を選択したり、あるいは目的地の地名（住所）を 50 音入力する等して、データ入力部 30 に目的地が入力されると、案内情報発生部 20 は、この目的地データをナビゲーシオン用 RAM に格納して目的地の設定を行う（ステップ 2）。

【0026】次に、案内情報発生部 20 は、所定の推奨経路に沿って目的地まで案内する必要があるか否かをたずねるメッセージをディスプレイ 12 上に表示させ、必要であると携帯者が入力したら（ステップ 3）、ステップ 2 で設定された目的地までの経路を探索する（ステップ 4）。すなわち、地図情報記憶部 24 の道路データ 241 及び交差点データ 242、現在位置測定部 26 の測定値、及び設定した目的地のデータを基に、現在位置から目的地までの経路を探索する（ステップ 4）。なお、現在位置は、携帯者が、目的地と同様にデータ入力部 30 を介して入力してもよい。目的地までの経路探索が終了したら、地図上に表示する文字の向きを、図 8 で示すモードで描画するか、あるいは図 9 に示すモードで描画するかをたずねるメッセージをディスプレイ 12 上に表示する。そして、携帯者が選択したモードを設定する（ステップ 5）。

【0027】次に、案内情報発生部 20 は、方位センサ 40 の検出値から所定時間内の携帯用ナビゲーシオン装置 10 の方位変化を求める（ステップ 6）。そして、方位変化が所定角度以上、例えば、5°、あるいは 10° 以上であった場合には（ステップ 6 ; Y）、地図描画部 28 が、方位センサ 40 で検出した方位分、地図がディスプレイ 12 に対し回転して描画されるように、地図情報記憶部 24 から読み込んだ地図描画データ 243 を座標変換する（ステップ 7）。座標変換した地図描画データ 243 は、地図描画部 28 の描画データ用 RAM の地図レイヤ 50（図 3）に格納する。

【0028】次に、地図描画部 28 は、ステップ 5 で設定された描画モードに合わせて文字データ 244 を座標変換する（ステップ 8）。すなわち、図 8 に示すように文字をディスプレイ 12 に対し一定角度で描画するモードが選択された場合には、文字データ 244 の各文字列データにおける座標データのみを変換する。一方、図 9 に示すように文字の向きも地図と共に回転して表示するモードが選択された場合には、文字データ 244 の座標データのみならず、各文字のフォントデータに対しても変換処理を行う。地図描画部 28 は、座標変換した文字

データ244を描画データ用RAMの文字レイヤ52に格納する。

【0029】そして、現在位置レイヤ54、コマンドレイヤ56のデータと共に、座標変換後の地図描画データ243、文字データ244を重ねてディスプレイ12のビットマップメモリに展開し、ディスプレイ12上に描画する(ステップ9)。これにより、ディスプレイ12上には、例えば、図1に示すような地図画面が表示される。なお、ステップ1において目的地がなかった場合(N)、及びステップ4において経路案内を必要としない場合(N)は、ステップ5に移行する。また、ステップ6で装置の方位変化が所定角未満であった場合(N)、各レイヤ50~56に格納された座標変換(ステップ8、9)後の描画データを基に、地図等を描画する(ステップ9)。すなわち、ディスプレイ12上の地図は回転表示されない。

【0030】次に、案内情報発生部20は、ナビゲーション用RAMに経路データがあるか否かを判断し(ステップ10)、経路データがある場合には(ステップ10; Y)、矢印や案内音の出力を求める所定の入力キー14が携帯者によって押下されたか否かを判断する(ステップ11)。押下された場合(ステップ11; Y)、現在位置測定部26の測定データやナビゲーション用RAMに格納した経路データから、現在の位置が探索した経路上であるか否かを判断する(ステップ12)。経路上である場合(ステップ12; Y)、案内情報発生部20は、経路データを構成する交差点データや道路データ、及び方位センサ40の検出データから、携帯用ナビゲーション装置10の向きが経路の方向と一致するか否かを判断する(ステップ13)。

【0031】携帯用ナビゲーション装置10の向きが経路の方向と一致していたら(ステップ13; Y)、地図描画部28が、図6の(B)で示すように、ディスプレイ12上に大きい矢印を表示し(ステップ14)、案内音声信号出力部32が、例えば、「ピッピッピッ」といった案内音をスピーカ13あるいはイヤホン16から大きい音量で出力させる(ステップ15)。そして、例えば、携帯者がディスプレイ12上の案内中止のコマンド(図3)にタッチして、案内中止の指示をしたか否かを判断する(ステップ16)。案内中止が指示されていなかったら(ステップ16; N)、ステップ5に移行し、案内中止が指示されたら処理を終了させる。

【0032】ステップ13において、経路の方位と装置の方位が一致しないと判断した場合(N)、案内情報発生部20は、経路の方向と装置の方位の角度差が一定角、例えば、 $10^\circ$ 以内であるか否かを判断する(ステップ17)。そして、一定角以内であると判断した場合には(ステップ17; Y)案内音を小さい音量で出力し(ステップ18)、一定角以内でないと判断した場合には(ステップ18; N)ステップ16に移行する。この

ように、装置の方位が経路の方位に近づいたとき(ステップ17; Y)と、一致したとき(ステップ13; Y)とで、出力する案内音の音量を変えることで、経路の方向を容易に知ることができる。なお、ステップ11において所定の入力キー14が押下されなかった場合には(N)、ステップ16に移行し、ステップ12において現在位置が経路上にないと判断した場合(N)には、経路から外れていることを知らせるメッセージを、ディスプレイ12に表示したり、あるいはスピーカ13等から音声出力して(ステップ19)、ステップ16に移行する。

【0033】一方、ステップ10において、経路データがなかった場合(N)、案内情報発生部20は、ナビゲーション用RAMに目的地データがあるか否かを判断する(ステップ20)。目的地データがある場合(ステップ20; Y)、案内情報発生部20は、その目的地データに含まれる座標データと、現在位置測定部26の測定データとから、目的地の方位を算出する(ステップ21)。そして、方位センサ40の検出値を基に、目的地の方位と装置の方位が一致しているか否かを判断し(ステップ22)、一致していた場合には(ステップ22; Y)、図7(B)で示すように大きい矢印をディスプレイ12に表示させる(ステップ23)。そして、案内音を大きい音量で出力させ(ステップ24)、ステップ16に移行する。

【0034】ステップ22において、目的地の方位と装置の方位とが一致していないと判断した場合(N)、目的地の方位と装置の方位の角度が一定角以内、例えば、 $10^\circ$ あるいは $15^\circ$ 以下であるか否かを判断する(ステップ25)。一定角以内であった場合には(ステップ25; Y)、案内音を小さい音量で出力させ(ステップ26)、一定角以内でなかった場合、ステップ16に移行する。なお、ステップ20において、目的地データがなかった場合(N)、ステップ16に移行して案内音の出力や図6(B)図7(B)に示したような大きな矢印の表示を行うことなく、図5に示すような地図の回転表示のみを行う。

【0035】以上説明したように、本実施例では、ディスプレイ12上の地図が携帯用ナビゲーション装置10の向きの変化に応じて回転するように描画され、地図上の方位と実際の方位とが一致するようになっているので、携帯者は、地図上で方位を実際の方位として容易に認識することができる。また、本実施例では、携帯用ナビゲーション装置10の方位と目的地や経路の方位が一致したときに、ディスプレイ12上に大きな矢印を表示するので、案内音のみで知らせる場合に比べて、携帯者は、明確に目的地や経路の方位を認識することができる。

【0036】また、地図上の文字の向きが地図の回転に関係なくディスプレイ12に対して一定になる文字描画



モードと、地図と共に回転する文字描画モードを選べるので、適当なモードを選択することで、携帯者は、常に自分に対して一定の向きで表示された文字を見ることができ、地図上の文字を容易に認識することができる。本実施例では、地図や文字の回転表示は、携帯用ナビゲーション装置 10 の向きが一定角度以上変化したときに行うので、手振れ等によって頻繁に地図が書き換えられることがなく画面のちらつきを防止することができる。なお、地図等の回転表示は、携帯用ナビゲーション装置 10 の向きが  $30^\circ$  以上変化したときに行ってもよく、また、しきい値を設けることなく、携帯用ナビゲーション装置 10 の回転に合わせてリアルタイムに地図を回転表示してもよい。

【0037】また、案内音は、「ピー、ピー、ピー」や「ブブブブ」、あるいは「ピンポン」等でもよく、「もう少し右側／左側です」や、「今向いている方向が目的地／経路の方向です」といった音声を案内音として出力してもよい。また、案内情報発生部 20 が、設定した目的地のデータや現在位置測定部 26 で測定した現在位置のデータから、目的地までの距離を算出して、目的地への接近に伴って、案内音の音量を大きくするようにしてもよい。更に、所定の入力キーを押下（ステップ 11）しなくても案内音を常に出力するようにしてもよい。以上の実施例では、案内音の音量が 2 段階で変わるようになっていたが、例えば、目的地あるいは経路の方向と、装置の方向との角度が、 $30^\circ$  のときと、 $15^\circ$  のときと、 $0^\circ$  のとき（一致したとき）とで、案内音の大きさが 3 段階に変わるようにしてもよい。また、地図の回転表示は、常に行われるようになっていたが、所定のキーを押下したときのみ、行われるようにしてもよい。

【0038】

【発明の効果】本発明の携帯用ナビゲーション装置によれば、携帯者は、容易に方向を認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例による携帯用ナビゲーション装置の外観を示した図である。

【図 2】同装置の構成を示したブロック図である。

【図 3】同装置の描画データのレイヤ構造を示す説明図である。

【図 4】同装置の携帯者の道路上における方向の変化を示した説明図である。

【図 5】同装置のディスプレイ画面の変化を示した説明図である。

【図 6】同装置のディスプレイ画面の変化を示した説明図である。

【図 7】同装置のディスプレイ画面の変化を示した説明図である。

【図 8】同装置のディスプレイ画面と携帯者との位置関係を示した説明図である。

【図 9】同装置のディスプレイ画面と携帯者との位置関係を示した説明図である。

【図 10】同装置の動作の流れを示したフローチャートである。

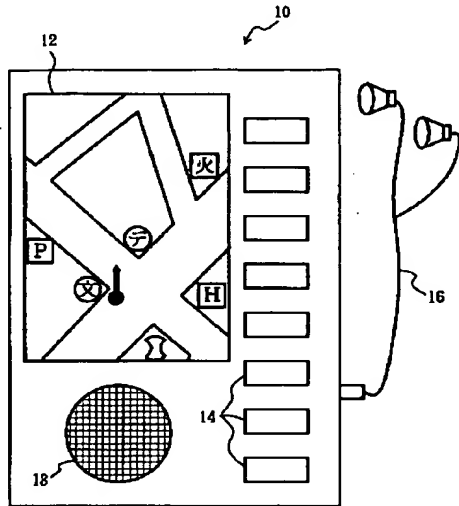
【図 11】同装置の動作の流れを示したフローチャートである。

【図 12】同装置の動作の流れを示したフローチャートである。

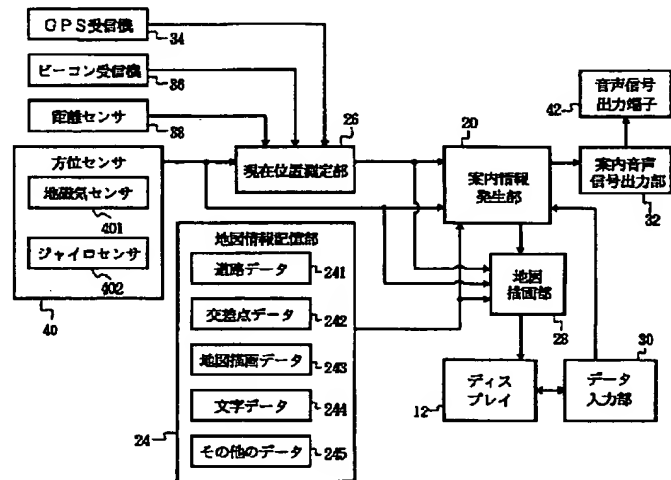
【符号の説明】

- 10 携帯用ナビゲーション装置
- 12 ディスプレイ
- 13 スピーカ
- 14 入力キー
- 16 イヤホン
- 20 案内情報発生部
- 22 ダイヤルゲージ
- 24 地図情報記憶部
- 26 現在位置測定部
- 241 道路データ
- 242 交差点データ
- 243 地図描画データ
- 244 文字データ
- 245 その他のデータ
- 28 地図描画部
- 30 データ入力部
- 32 案内音声信号出力部
- 34 GPS 受信機
- 36 ビーコン受信機
- 38 距離センサ
- 40 方位センサ
- 401 地磁気センサ
- 402 ジャイロセンサ
- 42 音声信号出力端子
- 50 地図レイヤ
- 52 文字レイヤ
- 54 現在位置レイヤ
- 56 コマンドレイヤ

【図 1】

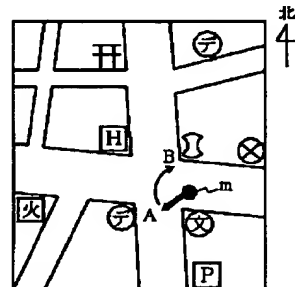
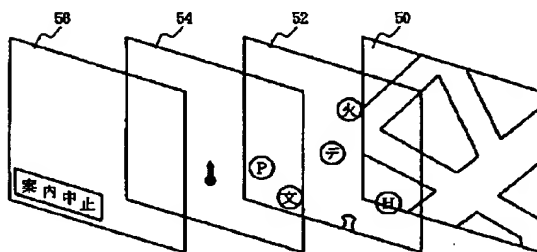


【図 2】

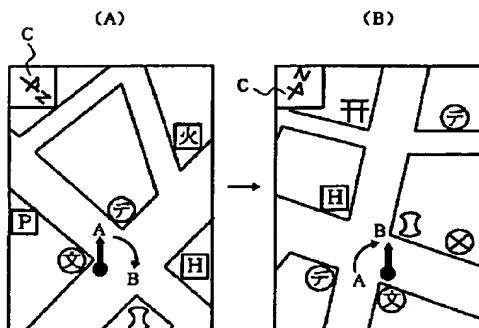


【図 4】

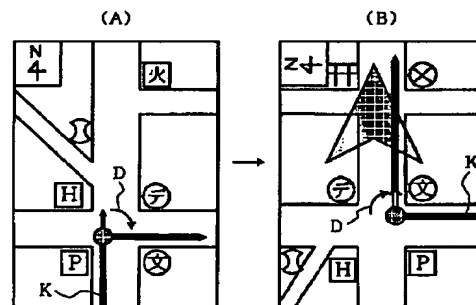
【図 3】



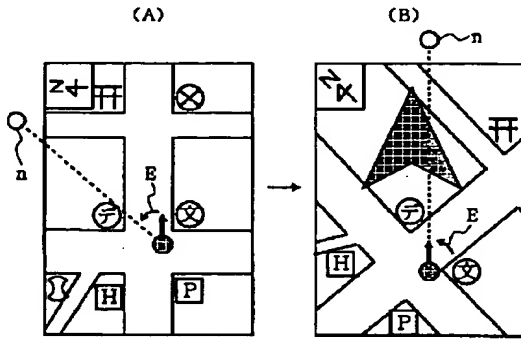
【図 5】



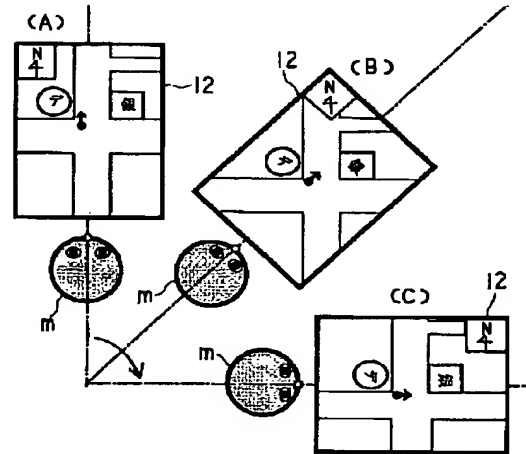
【図 6】



【図 7】

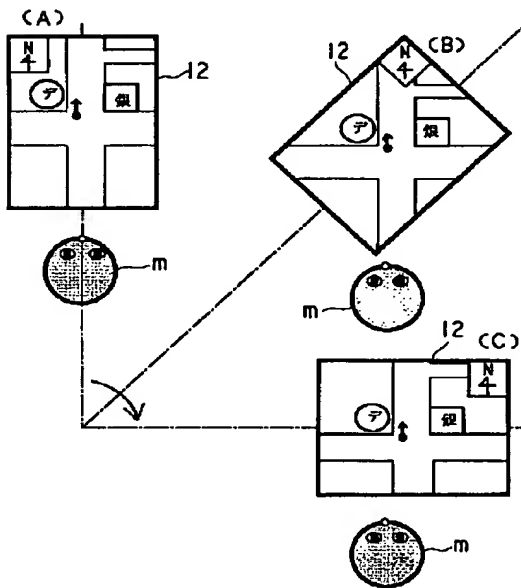


【図 8】



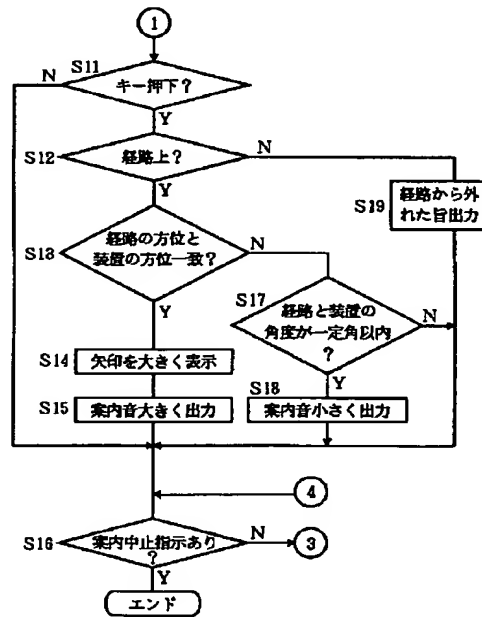
地図 ---- - 90° 回転  
文字 ---- 90° 回転

【図 9】

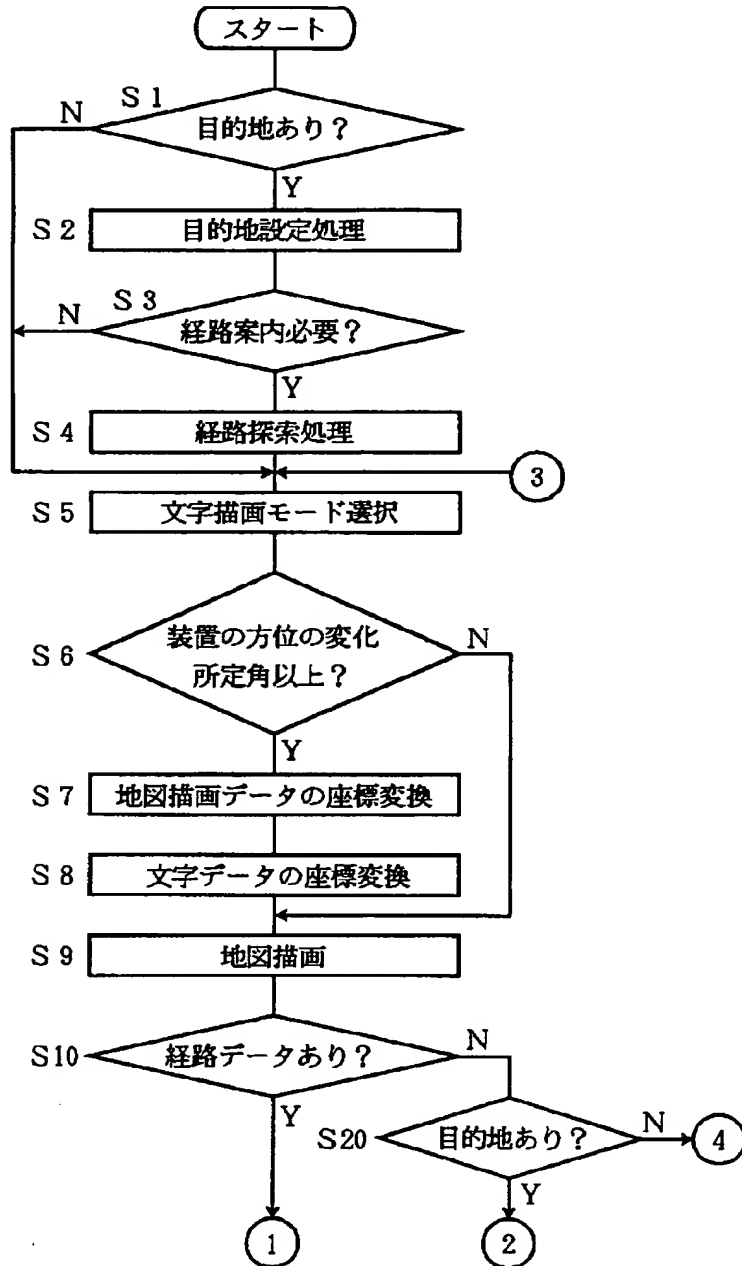


地図 ---- - 90° 回転  
文字 ---- - 90° 回転

【図 11】



【図 10】



【図 12】

